



玉島っ子だより

第6号 令和6年 7月 5日

文責：校長 松尾 信広

【学校教育目標】 **たくましく まごころいっぱい しっかり考え まなびあう子どもの育成**

☞ 熱中症を予防し、命を守るためにご協力ください！

全国では、人の体温を超える気温となっているところもあり、まだ7月に入ったばかりなのに…と頭を抱えているところです。気象庁が6月25日に発表した向こう3か月予報(7～9月)では、「全国的に暖かい空気に覆われやすいため、向こう3か月の気温は高いでしょう。」ということで、今後も十分な注意が必要です。そこで、本日、熱中症の注意喚起メールを発信させていただきました。学校だよりの方にも掲載しますので、改めて熱中症予防へのご協力をお願いいたします。

玉島小保護者 様

日頃より、本校教育活動へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。佐賀県では、熱中症警戒アラートが発令されたり、暑さ指数(WBGT)が危険レベルになったりと、熱中症の危険度が高まっています。昼休みから下校時刻にかけてはその傾向が特に強く、心配しています。

そこで、子ども達には次のようなことを指導しますので、ご家庭でもご指導やそのための準備(帽子・多めのお茶・朝食・睡眠)などをよろしくお願いいたします。

- ・帽子を必ず持ってくる。日差しがあればかぶってくる。
- ・お茶をいつもより多めに持ってくる。下校途中にも飲めるくらい。
- ・15分休みや昼休みなどに外に出るときは、お茶をもって帽子をかぶっていく。
- ・朝食を必ず食べてくる。必要な塩分の接種にもなる。
- ・睡眠を十分にとる。前日の体の疲れをしっかりとっておく。

子ども達の命を守るために、どうぞご協力ください。

玉島小 校長：松尾 教頭：森田

上記の内容は、休日や夏休みにおきましても必要最小限の注意事項となります。これらに加えて、家での過ごし方や遊び方、社会体育や習い事などによって、ご家庭でのルールづくりが必要になってくると思います。暑くなってきたこの機会に、家族でよく話し合ってください、命を守る取組をよろしくお願いいたします。

☞ 青少年育成大会の意見発表の内容をお読みください！【裏へ】→



前号でも紹介しましたが、6月9日(日)の「浜玉町青少年育成大会」で、本校6年生の〇〇さんが意見発表をしてくれました。運動会練習の真ただ中で代表が決定し、運動会が終わったらすぐに発表の準備を始めて当日を迎えるという大変なスケジュールの中でしたが、ものすごい集中力で表現力をめきめきと付けていきました。当日は、原稿よりも目の前の大観衆に目を向け、堂々と発表することができました。裏面にその発表原稿を載せていますので、〇〇さんの思いや

スポーツの良さなどを感じていただければと思います。



「スポーツで身に付いた力」 玉島小学校六年 ○○ ○○

僕は、スポーツが大好きです。

この意見発表の話が来て、先生に、「何について話したいですか。」と聞かれたときに、少しも悩むことなく、「スポーツです。」と答えました。好きな理由は、いろいろな力が付き、いろいろなことを教えてくれるからです。

僕は今、野球と相撲をやっています。野球は「浜友少年野球クラブ」で、相撲は「唐津相撲クラブ」で、大切な仲間たちと汗を流しています。

スポーツをやっていて心から思うのは、「基本」が大切だということです。僕が失敗したり負けたりするときは、だいたい「基本」を忘れているときです。周りからも、「基本に立ち返れ。」と注意されます。「基本」は、練習を何回も何回も繰り返すうちに、体にしみこんでいく力です。だから、ひとつひとつの基本練習を大切にしています。

また、スポーツを通して心も強くなってきました。特に、ポジティブシンキングができるようになったのは、僕の中で大きな変化です。「まず、自分の全力で試合にのぞむ。それで負けたら、弱かったというだけ。練習が足りなかったというだけ。だから、練習してまた挑戦しよう。」と考えるようになりました。それを強く感じたのは、東京の両国国技館で行われた「全日本小学生相撲優勝大会」で、ベスト4をかけて戦ったときでした。相手は、体重125kg、太ももは僕の2倍以上あるような大きな選手で、まるで大きな壁のように見えました。試合を待っている間も落ち着かないほど、相手の迫力はすごかったです。立ち合いの一発目で2～3m飛ばされて、3突きで負けてしまいました。とても悔しかったのですが、そんな負け方をしても、「次にやるときは、立ち合いを低くして、もぐって足をつくことができれば勝負になる。」と、前向きに考えていました。次に生きるような考え方を、これからも大切にしていこうと思います。

そしてもう一つ、気持ちの面で変わったことがあります。それは、相手を敬う気持ちです。野球にも相撲にも、「礼に始まり礼に終わる」という礼儀があるように、相手に対して、尊敬や感謝の気持ちをもてるようになりました。戦う相手がいるからこそ、目標を立てることができるし、自分の心と体も成長することができます。だから、戦う相手はただの敵ではなく、一緒に成長する仲間だと思います。ベスト4をかけて戦った、あの大きな相手も、敵であり仲間です。ちなみにその人は、その大会で日本一になりました。

これからスポーツを始める人に言いたいです。弱気にならないで、まずはやってみてください。やってみて壁にぶつかっても、自分のいいところを見つけて、それを磨いていったら強くなります。ポジティブシンキングで頑張りましょう。

僕はこれからもスポーツを続けながら、相手を敬い、どんな壁にも立ち向かい、乗り越えていける自分になります。最後に、もう一度。

僕は、スポーツが大好きです！

これで意見発表を終わります！

